

セーフティ・バイシクルリーダーと連携し 交通事故防止を呼びかけ

～津新町駅前で県警・高校生等と連携した交通事故防止啓発活動～

日本損害保険協会中部支部三重損保会（会長：藤山 高志・三井住友海上火災保険株式会社、三重支店）では、三重県警察と連携し、12月3日（水）に津新町駅において、セントヨゼフ女子学園高等学校のセーフティ・バイシクルリーダーとともに交通事故防止啓発活動を実施しました。

当日は、同校のセーフティ・バイシクルリーダーを中心とした7人で、通勤通学の方々にに対しチラシや反射材を配付し、自転車の安全利用や夜間の反射材装着等を呼びかけました。反射材を受け取った方からは「自転車には反射材をつけているが、自分にはつけていないので、夜間外出時につけたい。」といった声がありました。

中部支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。

セーフティ・バイシクルリーダーとは

三重県警察本部が県内に在学する高校生等に委嘱しているもので、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動を主体的に実施しています。三重損保会では、その活動や交通事故防止に貢献するため、セーフティ・バイシクルリーダーへ活動用オリジナルヘルメットを贈呈しています。セントヨゼフ女子学園高等学校のセーフティ・バイシクルリーダーには、2025年7月11日に活動用オリジナルヘルメットを贈呈しています。



＜安全な自転車利用を呼びかけ＞



＜夜間の反射材着用を呼びかけ＞